

**中3 保育を学ぶ(家庭科の授業)****～「遊び」で資質能力の育成を図る幼児教育～**

幼児教育は、「遊び」や「生活」といった直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現力などを育む教育と言われています。中学校の家庭科には、「保育」という領域があり、その中で、幼児期とのふれ合い体験があります。その一環の授業が、中学3年生で行われました。

20日の家庭科の授業では、多目的教室で幼稚園生と「だるまさんがころんだ」という遊びを通じた交流学习が行われ、幼稚園生は、中学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんとの遊びをととても楽しみにしていました。教室からは、幼稚園生の嬉しそうな笑い声とともに、中学3年生の温かく幼稚園生を見守る姿がありました。

**中学部2年から1年へ 修学旅行の報告**

本日、中学2年生による修学旅行報告会が保護者も参加して実施されました。先週13日から2泊3日で九州地方(福岡・長崎・熊本)を訪れた中学2年生が、修学旅行で体験したこと、感じたことを次年度修学旅行に行く、中学1年生に報告を行いました。報告会では、如己堂の由来や原爆についてなど、修学旅行で全員が見学した場所や自主学習で訪れた場所を一人一人が一つのテーマを持ち紹介しました。また報告会に参加した中1から多くの質問もあり、関心をもって参加している様子うかがえました。来年、なぜ諏訪神社に狛犬がたくさんいるのか、わかるといいですね。中2のみなさん、修学旅行から短い時間でよくまとめました。お疲れ様です。

